安全衛生委員会報告

部局名	工学院等（大岡山地区）
会議名	2025 年度 第 2 回工学院等（大岡山地区）安全管理室部会
開催日時	2025 年 5 月 27 日（火） 15:30～16:30 （Zoom）

報　告

1．令和 7 年度第 1 回大岡山地区安全衛生委員会報告（書面会議）（抜粋）

・東京科学大学大岡山地区安全衛生委員会規程（令和 6 年 10 月 1 日施行）について
・令和 7 年度の安全衛生委員会委員等名簿について
　井上工学院長が大岡山地区の総括安全衛生管理者（委員長）となった。衛生管理者は、物質理工学院から選出されている。
・実験系事故事例について
　大岡山地区で発生したフッ酸含有のエッチング溶液の 1 次洗浄液が手袋から浸透して指に付着した薬傷事故を紹介。洗浄液が付着した竹製トングをキムタオルで拭ったことが原因。

議　題

1．安全衛生委員会委員の選任（追加）について
・2024 年度で退任された環境・社会理工学院の江頭先生に、再度委員として加わった。

2．2025 年度工学院／物質理工学院／環境・社会理工学院（大岡山地区）安全パトロールについて
・日時は 7 月 3 日（木）13:30～17:00、集合場所は本館 4 階第 1 会議室。
・参加者は、学院長、安全担当副学院長、各学院安全衛生委員会委員、各系等から助教 1 名、業務推進課長、事務グループ安全担当、安全管理室室員を予定。若手教員の参加を促すことと、特に良い事例を取り上げることとした。
・安全管理室によるテーマ案「見つけよう身近な危険　～火災、薬傷、高圧ガスボンベ漏洩～」をもとに、委員からのアイデアを募集した結果、「見逃すな！日常に潜む発災のサイン」との提案があり、テーマ案の後半部分と合わせ今年度のテーマを以下の通りとした。
　テーマ：　見逃すな！日常に潜む発災のサイン　～火災、薬傷、高圧ガスボンベ漏洩～

3．事故・災害等発生／ヒヤリハット報告
1）事故・災害等発生報告書（本報告：1 件）
・フッ酸含有のエッチング溶液がゴム手袋を浸透し被液。大岡山地区安全衛生委員会で報告された事故事例と同じものであり、物質理工学院の材料系で発生した。
2）ヒヤリハット報告書（1 件）
・器具の一部が破損していた高圧水銀灯が、一般ガラス器具のゴミ箱に廃棄された。
3）（参考）すずかけ台地区における火災事故について
・4/25 にすずかけ台地区で発生した。1 単位の部屋内の約 1 畳の小部屋に保管されたゴミ袋から出火し、消防署による消火活動で約 2 時間後に鎮火。小部屋の扉、壁、窓サッシが焼損した。

4．その他
1）【大岡山地区】2025 年度「安全のリスクアセスメントの実施および報告」について
・4/30 に合同電子掲示板で通知済み（4077A 通知）。提出期限は 7/25 まで。
・リスクアセスメントには安全と衛生の2種類があるが、化学物質の取扱いを対象とする衛生のリスクアセスメントに対し、これは全研究室が対象となる。コンセントのトラッキングや地震等の災害時のリスクも想定される。可能な限り、研究室のメンバー全員で実施することを求めた。

2）特別管理物質及びがん原性物質の個人作業記録（2024 年度分追記）の提出状況について
・4/30 現在、21 研究室 216 名の記録表が提出済み。

3）「レーザーの危険性、安全な使い方」講習会（4/22）の参加状況について
・126 名の申し込みがあり、94 名が参加した。講習会の動画を HP に掲載し、案内済み。

4）令和 7 年度オンライン環境安全衛生講習の実施について
・4/25 に合同電子掲示板で通知済み（4075A 通知）。廃棄物を排出する際に必要な認定番号を取得する講習であり、期間内に受講していただきたい。

5）令和 7 年度 高圧ガスを扱う実験装置の「学内報告（登録）」及び管理方法について
・4/25 に合同電子掲示板で通知済み（4076A 通知）
・該当装置を所有する新任教員または新たな実験で該当装置がある場合は、登録をしていただきたい。

6）【調査依頼】資格取得補助と所有資格について
・5/16 に系主任宛てに調査依頼済み。（5/30 までに回答）
・衛生工学衛生管理者、第一種衛生管理者について、取得希望者がいない場合は、副学院長より推薦を求める。

7）「東京科学大学毒物及び劇物管理規則等に関する工学院・物質理工学院・環境社会理工学院における運用指針」の改訂案について
・東京科学大学毒物及び劇物管理規則の改訂に伴い、3学院の運用指針を見直した。旧指針は廃止とする。3学院では、マノメータや温度計等に含まれる水銀も管理対象としている。

このことについて、上記のとおり報告いたします。

令和 7 年 5 月 27 日
工学院長　井上 裕嗣